

わたしのまちの宝もの  
シリーズ 27  
ながはま百景

このコーナーでは、「ながはま百景」に選ばれた景観を毎月紹介します。



奥琵琶湖パークウェイの桜並木

(所在地) 西浅井町菅浦外

18・8 kmも続く奥琵琶湖パークウェイには、約4000本の桜が植えられており、車窓から美しい桜並木を眺められる絶好のドライブコースです。また、沿線には自然歩道もあり、ゆつくりと桜をめでることもできます。

木々の間から奥琵琶湖や竹生島を望みつつ、のどかな景色を楽しみながらつづら尾崎展望台へ向かうと、そこには北近江の山々と奥琵琶湖を見渡せる大パノラマが広がっています。

春だけでなく、夏の新緑、秋の紅葉など季節ごとに違った雰囲気が感じられる観光スポットです。四季折々の奥琵琶湖パークウェイをお楽しみください。

岡都市計画課  
(☎65-6562)

# ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

ここでは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介いたします。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゆーす」 検索

## 2月28日(木) 成長を器にとどめて



長浜北幼稚園の5歳児46人が、卒園の記念に「膝皿」づくりに挑戦しました。これは、自分の膝を型にして器をつくるもので、近くに住む土田隆生京都女子大学名誉教授が指導しました。

2週間後、土田さん宅の窯で焼かれた作品が届けられると、園児たちは世界に一つの膝皿を手にし嬉しそうな表情を浮かべました。将来、この皿を見るたびに自身の成長を感じ取ることでしょう。

## 3月3日(日) ひろげよう つなげよう 生涯学習の輪

さまざまな生涯学習の成果を発表し、市民の皆さんに関心をもってもらうことを目的に開催された「生涯学習推進のつどい」。午前のステージ発表では、太極拳や民謡、日舞、ダンス、朗読など多様な活動が紹介されました。

午後からは土曜学び座・ながはま学習塾のコーナーが設けられ、スライムづくりや茶道の体験などを楽しむ人で賑わいました。



## 3月11日(月) 復興への祈り、ここからも

東日本大震災から二年。観音文化ネットワーク会議の呼びかけなどで、市内の多くの観音堂にて追悼法要が行われました。

このうち西浅井町大浦の「大浦十一面腹帯観音堂」には、住民などおよそ10人が集まりました。法要のお世話をされた小川俊之さんは「子授け・安産の観音さまをお守りする身として、妊婦さんや幼いお子さんも震災で尊い命を落とされたことが悼まれます」と話してくださいました。



## 3月12日(火) ドイツのこと知ってますか

ドイツ・アウグスブルク市から日本に留学中のカリナ・ブリスさんが長浜市で職業実習を行いました。

この日は、田根小学校で5・6年生の児童に対し授業を行いました。子どもの前で話すのは初めてというカリナさんですが、ドイツの名所を写真で紹介したり、○×クイズで日本語となったドイツ語を紹介するなど、児童らが楽しめる工夫を凝らし、授業は終始、和やかな雰囲気で行われました。



## 3月6日(水) 「わかば幼稚園」園歌お披露目式

PTA役員の依頼により、長浜観光PR隊～Lefa～が作詞作曲したこの園歌。保護者や先生たちに向けたアンケート結果を反映させ、「元気におはよう」「笑顔でありがとう」といった言葉を歌詞に盛り込みました。

「元気なわかば幼稚園がつくれますか」という～Lefa～からの問いかけに園児たちは「は～い！」と大きな声で答え、大事に歌い継ぐことを約束しました。



## 3月9日(土) 菅浦を国の重要文化的景観へ

国の重要文化的景観の選定をめざし調査が続けられている西浅井町菅浦で、その調査結果の報告と、景観を活かした地域づくりの気運を高めるため、シンポジウムが開催されました。

シンポジウムでは、全国でもいち早く菅浦に形成された「惣」という自治村落や住民の生業についての講演に加え、パネルディスカッションも行われ、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。

